

高月小学校からの報告

活動団体名： 長浜市立 高月小学校 理科クラブ

活動人数： 25 人（教員 2 名）

取組時間： クラブ活動

調査内容

1 回目：5 月 16 日（月）高月小学校南側用水路 晴れ
2 回目：5 月 23 日（月）新柏原地区排水路 晴れ

5 月 16 日の調査では、水流が速めであることもあり、ザルを用いて水生生物の採集を行いました。子ども達は、4 人で 1 グループを作り、一人が上流部で、もう一人が下流部でザルで待ち構える形で協力しながら採集活動を行っていました。生物がいなさそうな環境でしたが、カワニナ、トビケラ類が多数捕れました。5 月 23 日の調査は、排水路で行いました。前回と比べると、泥が川底にあり、生物がいそうと子どもの目が輝いていました。泥を網であさったり、石の裏を調べたりしながら、カワニナやヒル類を多数捉えました。指標生物ではありませんが、カエルやヤゴなどをたくさん見つけ、楽しみながら調査活動を行えました。どちらの調査活動でも、講師として井田先生に来ていただきました。指標生物について教えていただき、児童とともに水質の違いについてまとめることができました。3 回目の活動では、学校で 2 つの川の水質について詳しく考察しました。指標となる生物の採取数から、水質判定を行いました。用水路と排水路では水質が異なることに気づけました。



調査員の感想

川によって住んでいる生き物がちがうことがよく分かりました。川は、見た目だけではきれいさが判断できなくて、住んでいる生物を調べることで水質を知ることができると学びました。私の住んでいる村の川でも水生生物を捕まえて、水質を調べてみたいです。

捕まえた生き物たち

昨年も理科クラブで活動をしました。昨年同様「トビケラ」「カワニナ」が多くとれました。また、今回初めて「ブユ類」が見つかりました。一方で、水が少し汚れている場所に生息する指標生物の採取数は減少しました。このことから、川の水質が少しきれいになったことが分かりました。

調査のまとめ

過去 5 年間分の調査データと今年のデータを比べると大きな変化は見られませんでした。身近な川の水質は大きく変化していないことが分かりました。しかし、今年初めて「ブユ類」が採取されたこと、「ヒル類」の採取数が減少していることから、若干ではあるが水質がきれいになってきていると考えました。少し汚れているの指標である「カワニナ」「トビケラ類」は 15 分ほどの調査で 70 以上捕まえることができました。これらのことから、高月小学校南用水路の水質は「Ⅱ」と判定しました。一方で、新柏原地区排水路は、ヒルと多くのカワニナを発見しました。パックテストの結果も 8 を示し、水質判定は「Ⅲ」となりました。どちらの河川も「カワニナ」が多数生息しており、近年ホタルの姿をよく見るようになりました。今後も、水について考え、環境について学びを深めていきたいと思います。



活動の様子

【5月16日 第1回観察 高月小学校南用水路】



【ドンコ トビケラ類 ヤゴ カワニナ スジエビなどを採取】



【5月23日 第2回観察 新柏原地区用水路】

